

第 1732 回例会報告

令和4年3月31日(木)晴

会長挨拶

米山奨学生の世話クラブ引き受け とカウンセラーについて

会長 小口直久

先週の理事会にて協議し、例会内でもご報告させていただいた米山奨学生の世話クラブ引き受けについて、正式に2600地区に登録させていただきましたので改めて皆さんにご報告させていただきます。

まず、奨学生の簡単なプロフィールを紹介させていただきます。前は、劉強さん男性26歳、国籍は中国、学籍は信州大学理工学研究科理学専攻 修士2年であります。居住地は松本市、引き受け期間は明日4月1日より来年の3月31日までとなります。

米山奨学会事業と言えば将来母国と日本の架け橋となる国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学する事であり、採用数は年間860人程度、民間では日本最大です。2600地区の2022年度については、新規奨学生22名、継続奨学生4名、計18名を迎え入れます。米山奨学制度は、奨学金による経済的支援だけでなく、ロータリー独自の心の通った支援制度であります。優秀な留学生と言ってもただ単に学業に優れているだけではなく、異文化への理解、コミュニケーション能力なども優れていなければなりません。そしてロータリークラブを通じて日本の文化、習慣などにふれ、社会参加と社会貢献などを育み将来ロータリーの理想とする国際平和の維持に貢献する人になることを期待しています。

事業費は約15.5億円で特にアジア中心に129カ国の地域に渡ります。世話クラブの中からカウンセラー1人を選び、奨学生の個人的ケアをしながらアドバイザーとして当たる制度になっています。奨学生は月に一度以上例会に出席し、ロータリアンと交流して、国際交流、相互理解を深めると共に、ロ

ータリーの奉仕の心を学ぶわけです。様々な職業、世代で構成されたロータリークラブでの交流は、奨学生が日本文化に接し、将来や奉仕について考える機会となり、奨学生とロータリアンの交流は相互理解のみならず、双方にとって財産となるものです。

この奨学事業は交流を目的としたプログラムですので、奨学生はロータリアンとの交流を通じて奉仕の精神に触れ、自らの精神を磨き人生観、職業観を高めます。ロータリアンにとっても金銭支援だけでは得られない感動と事業への深い理解が生まれ、更に支援への意欲が出ると思います。奨学生ロータリアンにとって大きな感動を生む事業だからこそ、日本最大の民間奨学事業にまで成長したのだと思います。世話クラブ、カウンセラー制度は米山奨学事業の神髄であります。

そこでご報告ですが、クラブ内から1名のカウンセラーを選抜しなくてはならないのですが、皆さんにご相談してから決定までのプロセスに時間が無かったことから、諸事情を考慮し、私がお受けいたしました。昨日の臨時理事会内で承認されたことも併せてご報告させていただきます。1年間、奨学生の劉強さんが勉学に集中できるよう、またロータリーとの橋渡しがしっかりできるようにしっかりサポートしていきたいと考えております。月に1回の例会参加はもちろん、行事等の参加も積極的に受け入れていきたいと考えておりますので、会員の皆さんのご協力をよろしくお願い致します。



大津中央ロータリークラブ

友好クラブ大津中央RCの林会長・大場幹事様



友好クラブ大津中央 RC ZOOM 来訪

地区大会について討論

大津中央 RC の林会長・大場幹事様が ZOOM 来訪されま、林会長からお礼のメールが届きました。大変お褒めいただいた内容で、恐縮しながらもうれしいことでした。なおこの後大津中央 RC から立派なお土産をいただき、こちらからも返礼のお土産をお贈りしました

本日3月31日はt 九大会の実施内容を決めるガバナー・ガバナー事務局と夜話し合いがありますので、緊急で小松地区大会実行委員長から会員の皆様のご意見をお聞きしました。大変厳しいお声をいただきこれを参考に話し合いに臨みます。

諏訪湖ロータリークラブの皆様へ

昨日は例会に御招待いただき誠にありがとうございます。また、お土産の佃煮ありがとうございます。諏訪湖ロータリークラブの皆様の様子を拝見できて嬉しかったです。以前からフィリピンの子供たちに楽器の支援を行い子供たちの生活に希望を持たせるなどの事業を見ていてクラブの皆さんの情熱には尊敬の念をずっと持っていました。今回も子ども図書館と井戸の掘削で住民の生活の大きな改善に尽くされたのを見てロータリアンとしての社会奉仕・国際奉仕とは何なのか教えて頂きました。



本日の ZOOM 出席は17名会場出席9名でした

私たちのクラブが所属する第2650地区の地区大会が3日の日曜日に開催されますが、当初、前日に2650地区の会長・幹事研修会等が予定され夜はガバナーはじめ地区の役員の皆様との会長幹事懇談会が予定されておりました。翌日は地区大会が開催されその後、地区会員の懇親会が予定されました。北陸・近畿地方のオミクロンの勢力が収まらず前日の行事はすべて中止となり翌日の懇親会もお弁当配賦に変わりました。会場もソーシャルディスタンスにより京都と滋賀の会員は本会議場から離れたホールでのweb会議によるスクリーン参加に変わりました。

いずこも同じことで思うようにならない行事のあり方を余儀なくされているのを知りました。

昨日のハイブリット会議の進行を拝見できて大津中央ロータリークラブにおけるweb会議の方法を考えることができました。

6月までには少なくとも2回くらい zoom を使って会議ができるよう頑張ります。

今後もこのような交流ができれば地理的な距離はありますがwebにより距離を感じずにお付き合いできると知りました。

御柱に参加できませんでしたが皆さんとリアルに懇親したくなりました。

今後も変わらぬ友情を育てていきたいです。

大津中央ロータリークラブ会長 林 繁里

第 1732 回例会

『ミンダナオ子ども図書館支援報告』

ミンダナオ子ども図書館 西村奈々子さん卓話
担当 国際奉仕委員会

初めに 成山国際奉仕委員長から趣旨の説明がありました。そのあと長崎政直会員から収支の報告や現地スタッフからのメールの紹介があり、ミンダナオ子ども図書館支援「井戸発作事業」3月26日をもちって終了したことが報告されました



宮本 梓さん

先日、井戸掘削工事がついに完了しました。井戸水は、水筒で電力でタンクにくみ上げて、使っています。まだ水が濁っていて、粘土のような匂いがあるので、飲料にはできないのですが、使い始めから1年後くらいに水質検査をして、飲料水にできるか調べようです。洗濯、トイレ、水浴び、食器洗いは、井戸水を使い始めました。断水時に水を採るのが本当に大変だったので、大変助かっており、子どもたちもスタッフも喜んでます。本当にありがとうございました。小さい子どもたちは、畑に小さいプールを作って井戸水を入れて遊んでいました。

現地宮本梓さんからのメールと収支報告

井戸掘削・水供給事業 収支報告

収入			
送金内容	寄付額 (¥)	換算 1 ¥:php	PHP換算
クラブ会員寄付	1,380,000	2.20	627,273
クラブ会員寄付	1,000,000	2.20	454,545
諏訪湖RCクラブ会計	677,000	2.20	307,727
クラブ会員寄付	500,000	2.20	227,273
黒加代子さん	500,000	2.20	227,273
MCLF発出金	24,057	2.20	10,935
合計	4,081,057	2.20	1,855,026

RC会計には、地区会費¥120,340、が含まれています。

支出			
工事	PHP	換算 1 PHP:¥	円換算
井戸掘削	838,000	2.20	1,843,600
ポンプ・備品	300,462	2.20	661,016
貯水タンク	302,281	2.20	655,018
給水パイプライン	110,750	2.20	243,659
水機光発電補助	303,533	2.20	667,772
合計			4,081,057

西村奈々子さんが「ミンダナオの子供たちが「生きる力」と「本当の幸せ」を教えてくださいました」という演題で卓話をしていただきました。

私たちが考えていたミンダナオの紛争の問題、子供たちの様子などを通じて大変考えさせられるお話でした。遠く離れていても(大阪に帰省中でしたが)こうしてお話を聞けるのはZOOMの恩恵です。何人の方も感想の中で「ぜひ行き会ってお話を聞きたいね」と話をしていました



ミンダナオ子ども図書館 井戸掘削・水供給事業報告

井戸掘削・水供給事業 収支報告

収入				支出			
収入内容	数量(円)	数量(Peso)	円換算	品名	単価	数量(Peso)	円換算
クラウドファンディング	1,590,000	2,29	167,274	井戸掘削	976,000	2,28	1,947,600
クラウドファンディング	1,000,000	2,29	174,546	ポンプ・機具	105,000	2,29	163,770
クラウドファンディング	471,000	2,29	107,727	貯水タンク	102,000	2,29	163,578
クラウドファンディング	500,000	2,29	107,273	運搬トラック	118,750	2,29	264,000
運動会入会金	500,000	2,29	107,273	水筒高圧洗浄機	250,000	2,29	161,712
献金/義捐金	14,250	2,29	13,239				
合計	4,065,250	2,29	1,250,909				

収支合計は、総額赤字2,804,341円です。

宮本 静江さん

先日、井戸掘削工事がついに完了しました。体研会は、水確保力でミンダナオにきて、助けています。まだおが濁っていて、程々のような匂いもするので、飲料にはできないのですが、飲めるお水が確保できて、飲料がにできるお水が確保できるそうです。

洗濯、トイレ、水浴び、素晴らしい。井戸水を使い始めました。貯水タンクに水を貯めるのが本当に大変だったので、大変助かっており、子どもたちもスワップも喜んでます。本当にありがとうございます。小さい子どもたちは、日に小さいプールを持って高圧水を入れて遊んでいました。



3月31日
追加期ロータリークラブ
例会

番者が語るミンダナオ ミンダナオの子供達が 「生きる力」と「本当の幸せ」を教えてくださいました！

西村 奈々子さん
出身校: Bitumeikan Asia Pacific University AFS (アジア太平洋大学)
在学期間: 2017年～2021年
志願校: 某志願校在任

ミンダナオ子ども図書館のミッション

1. 読み聞かせを通して、心豊かに育つ子どもを育て、夢を叶えること。
2. 読み聞かせを通して、心豊かに育つ子どもを育て、夢を叶えること。
3. 子どもたちのために、夢を叶えること。

なぜ今もなお、紛争が起こるの？

ミンダナオ島での紛争は宗教紛争が原因だと報道されています。

ですが、現地で私が見たのは、宗教や違いを尊重し合い共に生きるみんなの姿。